

No.75

御殿山二丁目
にて

この街が好きだから

武蔵野スケッチ物語

絵と文・大須賀一雄

見慣れた風景も、絵になるとちょっと違う趣が出てきます。

そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。



この作品は、昨年の冬のある日、御殿山で描いたものである。御殿山のいわれは、江戸時代に徳川家光將軍が鷹狩りにやって来た際、休息をとるために「御殿」をつくったことから名付けられたと聞く。

鷹でふと思いついたのが、私がかつてJR東日本のスケッチの講師をしていた時のこと、クラス名に鳥の名を付けたことがあった。クラス数が11クラスあったので、1からアイウエオ順に、アカゲラ、イソシギ、ウグイスと名付けていった。しかし、9番目のケで鳥の名が浮かばず、調べた結果、グアテマラの国鳥でケツァールという鳥がいることを知り、それをクラス名とした。

クラス初日、ケツァールのことを、一人だけ知っている生徒がいた。なんとその人は、日本野鳥の会に属しており、さもありなんと思った。この鳥は、古代アステカの聖鳥で、世界で最も美しい鳥ともいわれている。機会があったらぜひこの目で実物を見たいと思っているのだが……。

大須賀一雄

おおすか かずお

水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）、『透明水彩の世界・ヨーロッパ』および『緑』（旅もようスケッチ会）ほか。現在、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も30回を超える。

令和2年1月6日（月）～2月5日（水）「大須賀一雄作品展～武蔵野スケッチ物語～」をPENNY LANE GALLERY（ペニーレーンギャラリー）で開催。10時～21時（初日は13時～）。初日は大須賀一雄さんも来場。【PENNY LANE GALLERY：吉祥寺本町1-8-16 コビスA館1階（Tel. 0422-22-0381）】